

まだまだ知らない成年後見制度

資格更新し、不正防止へ 市民レベルで見守りを



▲左から野口誠一理事、中田均理事長、井上英一副理事長、小高誠副理事長

ここでは、これまで紹介してきた市民後見人と専門職後見人が所属する、活動が活発な団体を紹介したい。

成年後見センター！
リーガルサポート



井上英一副理事長

司法書士から成る公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート(以下、リーガルサポート)は、全国50支部において成年後見の利用支援を行っている。現在約3万人いる司法書士のうち8000人がリーガルサポートに加盟し

市民後見センターさいたま

仮認定NPO法人市民後見センターさいたま(さいたま市)は、生活支援から成年後見までを行う市民後見団体だ。「留守りや介護、相続、遺言、終末期医療、遺品整理など、心配ごとがあれば何でも対応します」と中田均理事長は話す。現在、40代、70代までの高齢者や障害者など約70件の契約がある。

団体の特徴は、社会福祉士、ケアマネジャー、福祉保健福祉士、介護福祉士など、専門職が会員となっている点だ。市民後見団体でこれほど専門職がそろった団体は珍しいそうだ。また、財産管理を行うための会費に上る換金などの不正防止

ており、そのうち6000人弱が後見人として活躍。

「司法書士は資格依頼がメインで、土曜や建物管理などの登録業務や財産管理が特に必要な時が多いです。また、遺言書作成の段階で司法書士は後見人を依頼することもあります。井上英典常任理事は話す。

後見人の中で司法書士が最も多い理由について、不動産の登記など、高齢者の後見が多いため」と話す。

また、専門職による不正が増加する中、リーガルサポートでは2年に1回成年後見に関する試験を実施し、資格を更新する制度を準備し、不正防止に努めている。

市民後見センターさいたまの主な生活支援サービス

| | | |
|------------|--------------------|----------|
| 買い物サービス | 五洲のスーパーへ買い物代行 | 1時間2500円 |
| 通院・入浴サービス | 急な入浴の手続き、入浴費の支払いなど | 1時間2500円 |
| 日常生活支援サービス | 各種書類の取りまわし、各種の申請など | 1時間2500円 |
| 行政手続きサービス | 市役所などへの書類の提出、郵便物整理 | 1時間2500円 |

するのを目的に、3人1組のチームで支援を行っている。必ず1人体制で自宅を訪問し、貴重品は銀行の金庫に預ける。現金庫は本人が訪問しないと開けられない制度を設けている。そして、チームには必ず理事を入れて、常に理事長が行動を把握するなど徹底している。

今年の後見人100人以上養成



高橋麗志理事

後見人のうち3割ほど多い社会福祉士の団体・公益社団法人日本社会福祉士会(東京都新宿区)は、「権利保護センター」などと「あそび」において成年後見の利用を支援している。現在、後見人を養成している会費は434名。

「日本社会福祉士会は今年、1000人以上の後見人を養成することを目標としている。

「介護や生活支援などを特に必要とする場合に、社会福祉士が成年後見人に選ばれるケースが多いです」と話す。介護サービスに携わる必要がある場合も社会福祉士が選ばれる可能性が高い。

また、家族と2階に後見人になる「複後見」もあるという。「専門職と家族との付き合いが大切」という。

日本社会福祉士会は今年、1000人以上の後見人を養成することを目標としている。